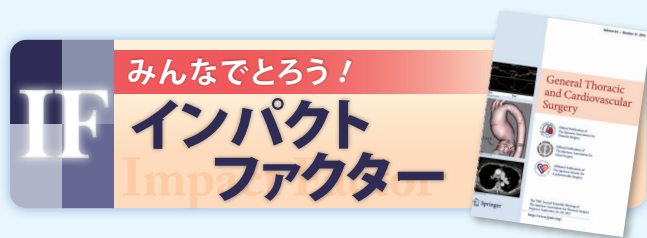


みんなでとったぞ インパクトファクター (IF)

GTCSの取り組み

General Thoracic and Cardiovascular Surgery (GTCS) は日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会のOfficial Journal、日本心臓血管外科学会のAffiliated Journalです

General Thoracic
and Cardiovascular
Surgery



本年3月始めに Clarivate Analytics 社 (旧 Thomson Reuters 社) から2016年の論文から Science Citation Index Expand というデータベースに GTCS が Index されると通知がありました。2015年12月に IF 申請を行い、2年3ヶ月経過後の吉報です。通常であれば来年 (2019年) リリースされる IF 2018 (2016-2017 出版論文が分母) から適用になります。しかし、IF の予備段階的なデータベースである Emerging Sources Citation Index には GTCS は 2015 年から Index されているため、現在、2018 年発表の IF 2017 (2015-2016 出版論文が分母) でつく可能性があるかどうか問い合わせ中です。また、具体的な IF の数値については、当方にはまだ知らされていません。

これも皆様が GTCS 充実のため、論文作成、査読などに払われたご努力の賜物と感謝しています。編集方針は従来と何ら変わることがありません。IF 計算の分母である総論文数を減らし、引用頻度の高い original article、review を増やし、case report を絞っています。この結果、original article の accept 率が約 50%、case report が 30% 前後です。GTCS としては質の高い original article、review のご投稿を歓迎します。また、学術集会における招請講演、卒後セミナーでの演者の先生方へお願いですが、是非とも invited review article として、GTCS にご投稿下さい。

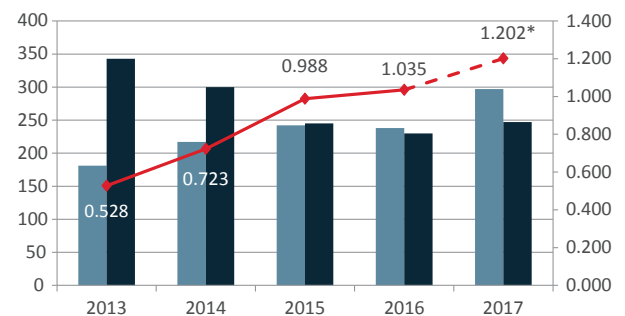
すでにインパクトファクターを取得している雑誌に論文を投稿されるときには、2016年、2017年発刊の GTCS に掲載されている論文を引用してください。心臓、呼吸器、食道各領域の分野別の 2016、2017 年論文リストは GTCS ホームページに掲載します。引用頻度の高い本学会学術委員会の学術調査報告書 (Annual report) もフリーアクセスとなっています。現在 2015 年度の集計結果を鋭意作成中です、もうしばらくお待ちください。

従来と違って今年からは、GTCS 論文を引用すると、GTCS IF に寄与します。注意が必要なのは、沢山の GTCS 論文を引用しすぎると、self-quotation check に抵触します。また、2015 年以前の GTCS 論文を引用されても 2018 年以降の IF には反映されません。2016 年、2017 年の GTCS 論文引用をお願いします。

会員諸兄のご協力を以て、今回、GTCS が IF を獲得出来たこと、誠に欣慶至極です。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

GTCS 編集委員長 大北 裕 2018/6/6

Preliminary Impact Factor

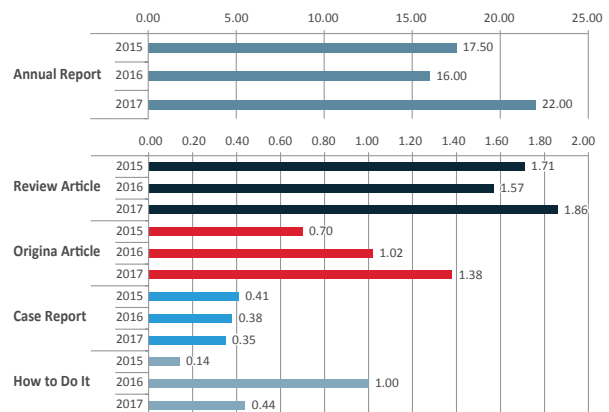


Number of Cites in last two years
Number of articles published in last two years
Impact Factor

*as of June 4, 2018

(Source: Web of Science, as of June 4, 2018)

Average Citations by Article Type (to articles published in previous two years)



(Source: Web of Science, as of June 4, 2018)

Number of Articles Published

